

第25回 人権フォーラム2026

# ハンセン病問題に関する シンポジウム

当シンポジウムは、ハンセン病に対する正しい理解を深め、  
偏見や差別がなくすべての人が「ともに生きる」、  
より良い社会づくりに貢献することを目的としています。

2026年

# 2月23日(月・祝)

13:00～16:00

(開場12:30)



会場：せんだいメディアテーク  
宮城県仙台市青葉区春日町2-1  
7階スタジオシアター

「会場とライブ配信」の同時開催

参加無料



本シンポジウムの参加者には、参加の記録として  
活用できる「オープンバッジ(参加証明・学習記  
録)」を、事務局である(公財)笹川保健財団から  
希望者に発行します。



主催：厚生労働省、法務省、文部科学省、全国人権擁護委員連合会

共催：全国ハンセン病療養所入所者協議会、ハンセン病違憲国賠訴訟全国原告団協議会、ハンセン病家族訴訟原告団、ハンセン病違憲国賠訴訟全国弁護団連絡会

後援：宮城県、仙台市役所、日本皮膚科学会、日本ハンセン病学会、ハンセン病市民学会

# 第25回 ハンセン病問題に 関するシンポジウム

## プログラム

13:00~13:05

主催あいさつ 厚生労働省

13:05~13:15

開会のあいさつ

ハンセン病違憲国賠訴訟全国原告団協議会会長  
豊山 勲

13:15~13:45

宮城県仙台第二高等学校

「二度と繰り返さないために～共生の未来へ～」  
2年 上松 咲愛 小野 杏菜 工藤 美来

13:45~14:15

学校法人開智学園

「内から見たハンセン病問題  
～ラベルじゃなくて、わたしを見て～」

1年 五十嵐 優華 友利航 エンゾ 呂 韓暢

14:15~14:45

学校法人開智学園

「『知る』から『伝える』へ」

2年 佐藤 凪紗 中村 亨也

休憩 10分

学校法人開智学園

「知識から行動へ：ハンセン病問題に学校教育として  
取り組む意義と成果」

国語科教諭 田中 佳太

青森大学

『デジタルアーカイブによる社会的記憶の継承  
～過去から未来へ～』

ソフトウェア情報学部2年 渡部 遼

国立療養所松丘保養園

『松丘保養園入所者から』

話し手

国立療養所松丘保養園入所者自治会会長 佐藤 勝  
聞き手

国立療養所松丘保養園社会交流会館学芸員 澤田 大介

閉会のあいさつ

全国ハンセン病療養所入所者協議会会長 屋 猛司

## お申し込み

シンポジウムのご参加(会場・ライブ配信)は  
QRコードよりお申し込みください。



本シンポジウムでは、会場参加者およびオンライン参加者を対象に、参加や学びの記録として活用できる「オープンバッジ(参加証明・学習記録)」を、事務局である公益財団法人笛川保健財団がアンケート回答後に希望者へ発行します。取得したバッジはオンラインで保存・共有でき、個人の学びの整理や記録にご活用いただけます。

## お問い合わせ

国立ハンセン病資料館内 ハンセン病シンポジウム事務局

〒189-0002 東京都東村山市青葉町 4-1-13

Tel: 042-396-2909 [受付時間: 火曜~日曜 9:00~17:00] E-mail: info@nhdm.jp